

旧海軍大社基地関連施設群に関する状況について

旧海軍大社基地関連施設群（以下「施設群」という）について、令和3年度3月議会で
ご報告した以降の状況を、下記のとおり報告します。

記

1. 滑走路跡記録調査の成果について

昨年12月に行った事業者が所有する滑走路跡の記録調査（以下「記録調査」という）
について、その成果を下記のとおり公開します。

・出雲弥生の森博物館展示 《7/6～10/31 開催予定》

「いつまでも戦後でありたい2022 ～旧大社基地の調査速報～」

・ふるさと歴史学習「出雲に残る戦争の爪痕」での活用 《通年》

※昨年度、県教育委員会が作成した平和学習教材DVD「島根に残る戦争の爪痕 旧海
軍大社基地関連施設群」もあわせて活用します。

2. 市文化財保護審議会からの意見について（5/16 審議会開催）

審議会では、記録調査の成果報告にあわせ施設群の現地確認を行い、施設群の総合調査
の実施も含め、下記の意見をいただきました。

①滑走路全体の構造を明らかにし、滑走路の工法を把握する必要がある。

②現在、約600mにわたり断面が露出している滑走路跡南側市道予定地（市道斐川
2268号線）のコンクリートの構造を、市道整備と調整を図りながら調べてほしい。

③コンクリートの上に道路を整備することはできないか。

④総合調査にあたっては、国補助金や大学等との共同研究も検討してほしい。また、専
門家に関わってもらい、しっかりとした調査を行ってほしい。

3. 島根史学会、島根考古学会、戦後史会議・松江からの要望について

市に対し、5/12下記の要望・見解が提出されました。

①《要望》滑走路跡南側市道予定地を貴重な文化財として保存してほしい。

②施設群の文化財としての価値に触れないまま開発を容認した県・市の姿勢は遺憾で
ある。

③施設群の取扱いについて、文化財保護審議会や各分野専門家の意見を尊重し、適切
に進めてほしい。

4. 施設群の調査に係る市の対応について

- ①市道斐川2268号線は、旧斐川町において町道（市道）認定され、開発計画の具体を受け整備を行うこととしていた。このたび事業者の開発計画を受け、令和3年度6月補正で測量設計を行い、今年度から道路整備を行う予定である。
- ②市道予定地である滑走路跡については、市文化財保護審議会委員からの意見等も踏まえ、市道整備と調整を図りながら、滑走路の構造を紐解くための調査を行いたいと考えている。内容としては、市道予定地コンクリート断面の精査・実測・写真撮影、コンクリート前面の掘削等を考えている。
- ③また、令和5年度以降、施設群の全体像を明らかにするための総合調査を実施する考えであり、今年度、市文化財保護審議会委員をはじめとする専門家による部会を設け、調査計画を策定していく予定である。

《調査内容（案）》

- ・戦争当時の状況の聞き取り調査
- ・文献記録調査（古写真含む）
- ・掩体（えんたい）、保管壕等の分布調査
- ・建造物調査（国民学校、爆弾庫等）
- ・戦争時の物品資料調査
- ・他の類似施設との比較

5. 歴史学習の場の確保について

歴史学習の場として活用する滑走路跡の一部については、その確保の方法について事業者との協議を踏まえ、9月議会において報告したいと考えています。